


三田市長

2020年 11 月 25 日

森 哲男様

全日本年金者組合三田支部  
支部長 

## 要 望 書

### 1. はじめに

市政運営にご精励のことに敬意を表します。

私たちは、高齢者が健康で安心して生活が送れる社会の実現と、各種の交流事業を通じて楽しく元気がでる活動を続けている組織です。

菅政権に代わって2ヶ月あまりがたちます。菅政権は、医療・介護の改悪、年金額の引き下げ、消費税の増税など国民への負担をおしつけてきた「安倍政治を引き継ぐ」としてきます。なによりも政治のあり方として「自助、共助、公助と」と自己責任を強調。また、日本学術会議の会員6名の任命を拒否するという強権政治を行っています。

コロナ禍のもとで、市民は、健康への不安とともに、暮らしと営業も厳しい状況におかれています。

いま、コロナの感染が拡大するもとで、地方自治体として市民の命と健康、安心・安全を第1に暮らしと営業を守る対策とともに、市民の声に耳を傾け、暮らしを応援する政治へその役割を果たされるよう強く要望します。

つきましては、組合員から寄せられた声をまとめ、以下の通り要望します。ご検討のうえ誠意ある回答をお願いします。

## 要 望 事 項

### (1) コロナ禍のもとで市の取り組みについて

- ① コロナ禍、感染拡大が続く現在、PCR検査体制の充実と迅速な検査と追跡調査の充実、感染者の治療体制の拡充をはかること。
- ② 三田市に保険所の復活を県に要望すること。
- ③ 65才以上の方のインフルエンザワクチン接種を無料にすること。

### (2) 三田市民病院を公立として存続させ医療体制の充実を図ること

- ① 市民病院の「統廃合」や「民営化」を行わず、現在地で市立病院として存続し、夜間の救急医療体制の充実や待ち時間の短縮など患者の立場にたった改善をはかること。
- ② 病院給食は引き続き院内調理とし、外注化を行わないこと。

### (3) 国保税の負担軽減をはかること

- ① 被保険者の世帯人数が多い世帯や所得の低い世帯ほど負担の重い、「均等割」、「平等割」を廃止し国保税の負担軽減を図るため、国に対し制度改正と国の負担増を求めること。
- ② 「所得の激減」を「5割」から「3割」に拡大するなど市独自の減免制度を充実させること。

### (4) 介護制度の改善・充実と高齢者福祉対策を急ぐこと

- ① 基金を活用して介護保険料の負担軽減をはかること。
- ② 必要な介護や支援がうけられるよう市独自の支援策を設けること。
- ③ 深刻な老々介護の実態を把握し、負担軽減策を講じること。

### (5) 水道料金を引き下げること

- ① 水道料金の基本料金を「5立米」に見直し、少量利用者の負担を軽減すること。

### (6) 高齢者および交通対策の強化をはかること

- ① 「高齢者交通費助成」の助成額を大幅に増額すること。また、JRへの利用拡大をはかること。
- ② 市の責任で、「コミュニティバス」の運行や「デマンドタクシー」の導入など外出を支援すること。
- ③ 新三田駅にエスカレータの設置をJRに求めること。

### (7) 高齢者の交流とゴミ出し支援策の充実

- ① 敬老会への助成金を復活すること
- ② ゴミ出し困難者への戸別収集を実施すること
- ③ 加齢性難聴者への補聴器購入補助制度を導入すること。

以上